

第 24 回企画委員会議事要旨

日時 2021 年 8 月 31 日 17:10～19:00

場所 ズームにて開催

出席者 駒村委員長、朝日委員、有村委員、池田委員、奥田委員、久保寺委員、西岡委員、丸物委員、村木委員、岡崎全体委員会委員、山田全体委員会委員
(上記以外の出席者) 日本財団、ダイバーシティ就労支援機構

1. 日本財団 WORK! DIVERSITY プロジェクトに関する基本的用語、課題の整理

【事務局説明】(資料 1)

- (ダイバーシティ就労支援) 地域プラットフォームは、地域レベルでのダイバーシティ就労を支援し、就労関係での基本的サポートサービスが確実に提供される環境を整備するため、地域支援関係機関、就労事業所、就労困難者関係団体等が実施するダイバーシティ就労支援に関連する事業の調整・協働支援を行う基盤的組織とする。
- (ダイバーシティ就労支援) 全国プラットフォームは、地方での取組みなどを支援するための、全国区レベルの主要関係団体を構成員とする基盤的組織とし、①地域プラットフォームに対し、相談・助言、就労支援機関情報・先進事例・専門家リスト・モデル支援プログラム等地方の取組みを支援するツール・情報を開発・提供するとともに、ファンド等を活用し必要資金を供給する。②地域プラットフォームへの支援策以外にも、地域の就労支援機関に対する情報提供等の支援を行うとともに、政策提言、調査研究、事業評価等のシンクタンクの活動も目指す。
- 地域プラットフォームと全国プラットフォームを総称して、「ダイバーシティ就労支援ネットワーク」と呼ぶ。

2. 地域プラットフォームへの支援策以外の全国プラットフォームが実施する事業

【事務局説明】(資料 2)

- 現在、企画委員会では、地域におけるダイバーシティ就労を支援する「ダイバーシティ就労支援地域プラットフォーム」(仮称) や地域プラットフォームを支援する全国組織である「ダイバーシティ就労支援全国プラットフォーム」(仮称) の具体的検討を行っている。地域プラットフォームと全国フォーラムにつき、集中して検討を行っている。先週 8 月 26 日に発足、課題整理や実現プランの叩き台を策定いただくことになっている。
- 地域プラットフォームへは相談・助言等多様な支援を行っていくことにしているが、地域プラットフォームはすぐには構築できないこともあり、情報提供等、地域レベルの多様な就労支援機関を直接支援するための事業も行っていきたい。
- 2021 年度は、①2021 年 3 月に実施した就労支援機関アンケート(障害者就労支援機関を除く。) や 12 月に予定している障害者就労支援機関アンケート調査に回答して頂いた

就労支援機関に対するフィードバック、情報提供、②公開有識者連続講演会の開催を考えている。

- 2022 年度以降は、①各地域の就労支援機関に対する支援として、半日程度のオンラインセミナーの開催や情報提供サイトの開設、②政策提言、調査研究等のシンクタンクの活動等を考えている。

3. 意見交換

- 地域プラットフォーム、全国プラットフォームの役割、事業内容を十分詰めてほしい。
- ネットワーク部会、横断的支援部会は、お互い連携を十分取った運営をしてほしい。

3. 障害者就労支援機関アンケート調査（仮称）の概要の説明

【事務局説明】（資料4）

- 障害者自立支援法に基づく以下の就労支援機関を対象に、本年12月に法人単位の調査を行う。
 - ・ 就労移行支援事業所
 - ・ 就労継続支援（A型）事業所
 - ・ 就労継続支援（B型）事業所
 - ・ 就労定着支援事業所
- 就労支援の内容、実績、複合的な就労困難者の受け入れ状況、同今後の受入の可能性、WORK! DIVERSITY 事業への参加意向等を調査する。